

ス 地盤リスクを評価

タ B C P対策の提案強化

タスは、金融機関向
けに提供する「地盤リ
スクレポート」をB C
P（事業継続計画）対
策の有効的な手段とし
て、地域金融機関への
提案を強化している。

での採用を見込んでい
る。

4月にサービスを開
始した「地盤リスクレ
ポート」は、不動産評
価Webサイト「T A
S-I M A P」で利用が

例えば、液状化の可
能性は4ランクで評価
をし、その発生理由も
レポートされる仕組
み。あらゆる土地のB
C P対応に活用でき
る。対象となる土地も
ピンポイントで設定が
可能。

住宅評価は、4月に
改正・施行した「公共
工事の品質確保の促進
に関する法律」（品確
法）により、液状化リ
スクに関する情報を新
たに参考表示すること
になった。地盤リスク
情報などハザードマッ
プは、各自治体が公表
しているが、公開方法
やフォーマットも様
々。不動産所在地のり
スク情報を金融機関が
個別に収集するには負
担が大きい。

現在、T A S-I M A
Pを利用する金融機関
は約100機関。既存
ユーザーは「地盤リス
クレポート」をオプシ
ョンで利用できる。1
件あたり3千円からレ
ポートの出力が可能に
なる。

東日本大震災以降、課
題になってきている土地の
安全性を正確かつ簡便
に評価できることか
ら、融資や管財など土
地資産を管轄する部署

の地盤の揺れやすさや
活断層の有無、液状化
の可能性など六つのリ
スク項目を確認でき
る。

可能。対象となる土地
S-I M A P」で利用が
可能。対象となる土地
の地盤の揺れやすさや
活断層の有無、液状化
の可能性など六つのリ
スク項目を確認でき
る。